



新成人：前列8名 左から、中村竜太さん、日高智絵さん、田畑由希さん、平田樹里奈さん、村長を挟んで
矢澤耕平さん、園山智恵美さん、有川岬さん、有川友理さん

としま

議会だより

No.52 平成23年2月発行

発行/鹿児島県十島村議会

〒892-0822

鹿児島県鹿児島市泉町14番15号

TEL 099-222-2101

FAX 099-223-6720

= 22年11月定例議会 =

11月25日～11月26日

一般質問

福祉行政の充実について
急患搬送について

条例改正 1件

十島村職員の給与に関する条例等の一部改正

補正予算 4件

一般会計は、7,555万円の増額
国保特会は、1,050万円を増額

契約締結 4件

定期船ドック及び一般工事 7,329万円

過疎計画策定

福祉行政の充実について

○日高議員 本村の地域福祉の充実のための、制度活用と効果は。社会福祉法をどのように理解して、福祉行政に取り組んでいるか。

○敷根村長 本村では、高齢者や障害者の住宅改修制度をはじめ高齢者乗船券交付事業、おむつの支給（事業、日常生活品等の支給、身体障害者等に補装具の支給、修理事業、医療費の助成事業やこども医療費、高齢者の肺炎球菌ワクチン接種事業など、さまざまな事業を展開しております。また、宝島において、小規模多機能居宅類似事業を平成22年度からモデル事業として取り組んでいるところでありますが、介護保険法に基づく事業に展開していくことが課題となっております。住民福祉の向上に向け取り組んでいきたい。

○日高議員 社会福祉法において地域福祉計画が策定されているが、計画が地域福祉に反映されているか。計画の進行、管理、評価、見直しは。

○敷根村長 地域福祉活動が広がるよう支援し、事業推進を展開しておりますが、まだまだ道半ばといったところであります。推進には、地域での団体や個人、民生委員、あるいはボランティアの活動が不可欠なものとなっております。地域の皆さんのご理解とご支援をいただきました。

○日高議員 民生委員、児童委員の活動状況の把握はできているか。民生委員、児童委員の活動の課題は。
○敷根村長 平成21年度の活動実績は、相談支援24件、地域福祉活動37件、訪問連絡調整306件、関係機関への連絡調整9件となっております。

○敷根村長 相談等があった場合は、的確な処理をしてもらわないといけないと思っております。自分では分からないことは、担当課に連絡するということが大事であると思っております。

○日高議員 すべての児童の人権を守り、健全な発達保障、子育てを地域全体で支える視点からの施策推進を図れ。独居高齢者に緊急警報装置の貸与を図れ。高齢者の安心、安全ネットワークの充実を図れ。（福祉協力員を配置し、声かけ運動等安否確認）

○敷根村長 平成21年度に次世代育成支援行動後期計画を作成し、母子保健及び児童福祉に取り組んでおります。療育力の低下している家庭を早期に発見し、育児不安やストレスを少しでも軽減できるように、必要ときに必要な支援を行えるよう、育児支援家庭訪問事業等を実施しております。また、関係機関との連携を強化するため、情報交換、連絡等を円滑に行えるよう努めております。今後とも子どもの権利を守るネットワーク関係作りに一層の推進をして参りたい。

○敷根村長 おおむね65歳以上の人暮らしの方に対して、緊急通信装置を対応して、急病などの緊急時に敏速な対応がとれるシステム構築を

しております。緊急通信装置の必要性のある家庭、特に単身の高齢者の状況等把握しながら検討を進めたい。

○敷根村長 高齢者や障害者など、援護を必要とする人に対し、地域住民が主体となって、声かけや安否確認等行うことは非常に大事なことであります。平成23年度は十島村高齢者と暮らし安全安心ネットワーク事業（仮称）の設置について、担当課に検討するよう指示しております。福祉協力員の設置についても、取り組んでいきたい。

○日高議員 県社会福祉協議会の生活福祉資金制度の周知を図れ。
○敷根村長 村の広報等に載せたりして、啓蒙したい。県社会福祉協議会とタイアップしながら広報活動に取り組んでいきたい。

○日高議員 死亡から火葬場までの搬送マニュアルの作成を図れ。
○敷根村長 9月議会後、庁内で協議をしてきたところであり、マニュアル、手引き等を作成するよう指示をしております。



日高助廣 議員

○永田議員 ドクターヘリの運用が始まった場合、本村の急患搬送システムについて、現状との変更が見込まれる点があるのか。本村の急患患者が鹿児島市へ搬送されるのか、奄美市へ搬送されることになるのか。



永田和彦 議員

○永田議員 平成23年度から運用が開始される鹿児島県のドクターヘリについて、運用についての概要等の説明を求めます。

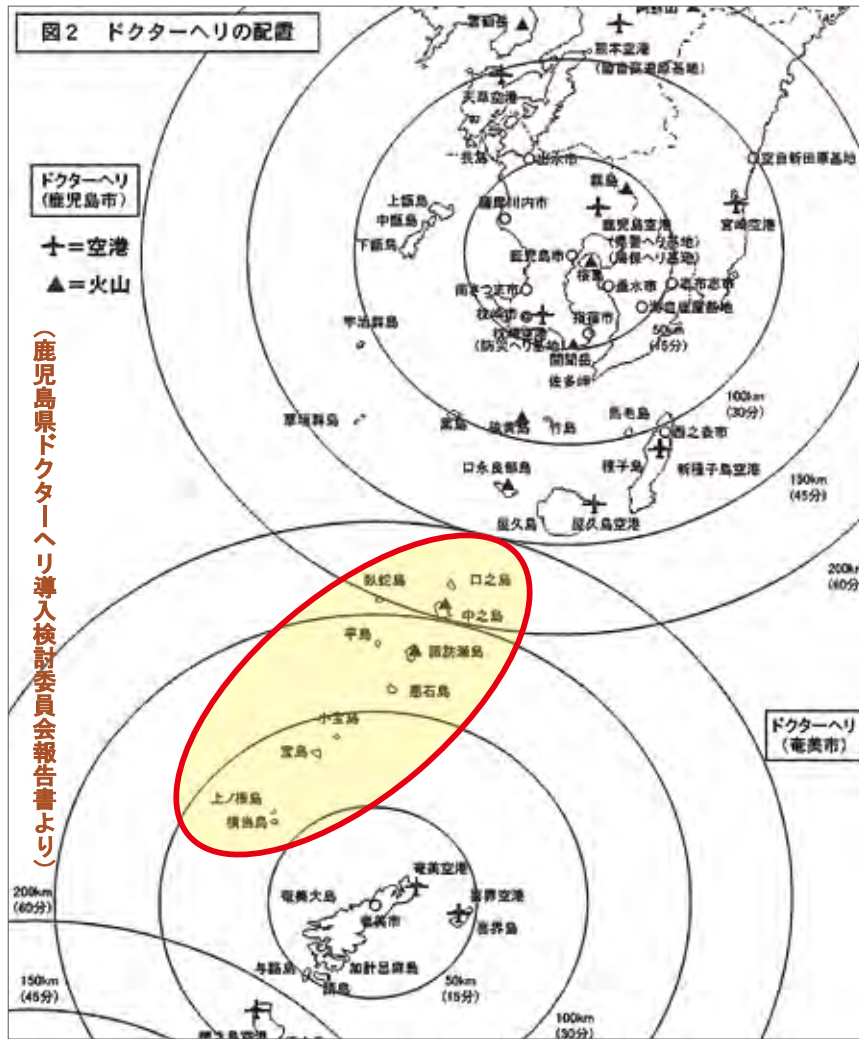
○敷根村長 まず第1点の23年度から運用開始のドクターヘリにつきましては、鹿児島市立病院を基地とし、運用される予定で、平成25年度から、新たに鹿児島県立大島病院を拠点とするドクターヘリが導入される計画となっております。現時点で十島村は、この県立大島病院を拠点とするドクターヘリの枠組みに参入されることになっております。

○敷根村長 大きな変更点として、現在、本村からの急患搬送につきましては、防災ヘリ、海上自衛隊ヘリのいずれの場合も、鹿児島市内の病院へ搬送されており、二機のドクターヘリ整備後は、県本土から熊毛地区までと奄美地域にわかれて運用されることになっていくようでありま

して、本村は奄美地域の枠組みで運用されることになる見込みであります。本村としましても、住民の多くが鹿児島市を生活圏としていることを説明し、可能な限り、鹿児島県本土から熊毛地域までの現行の体系で運用していただけるよう、要望して参りました。

○永田議員 急患搬送時間の短縮を図っていくかが今後の最大の課題。これまでにそういった協議がなされた経緯があるのか。今後さらなる事務手続きの簡素化に向けての協議を行っていく考えがあるのか。

○敷根村長 急患搬送にかかる時間の短縮のため、事務手続きの簡素化ができないか、これまで関係機関と協議をしております。情報の伝達が非常に重要であることから、本村職員はもとより関係職員に対しても、急患搬送要請手順についての周知徹底をお願いして参りました。二つの拠点病院のもとドクターヘリが運航されることにより、平島以南の5島につきましては、現行の体制より25分から60分程度患者を早くヘリに収容できる見込みでもあります。ただ、十島村の住民の多くが、議員もご指摘のとおり、鹿児島市を生活圏としており、鹿児島市を本土への搬送を引き続き要望して参りますが、患者の生命を第一に考えますと、奄美地区への搬送もやむをえない部分もあろうかと思



急患搬送について

います。

一般会計（第4号）

補正額 75,553千円を追加
補正後の予算額 34億5,525万円

主な財源

地方交付税	25,000千円
県・農林水産業費補助金	
ふるさと雇用再生特別基金	6,044千円
村債・過疎対策（ソフト・ハード事業）	
産業振興支援事業	33,200千円
就業者育成事業	△13,500千円
空家利活用事業	13,500千円
定住促進住宅改修事業	7,000千円
財産収入（売払収入）	1,612千円

主な使途

指定宿泊所村負担金補助	1,500千円
平島公民館公衆便所整備	4,000千円
空家利活用事業	
民間空家改修工事	4,500千円
住基ネットワーク・システム改修	2,481千円
診療所施設整備	
中之島住宅改修・宝島手摺	5,325千円
簡易水道特会繰出金	2,144千円
平島共同墓地整備	28,028千円
口之島墓地改修	2,282千円
ふるさと雇用再生基金事業	
中之島農業経営近代化事業	6,853千円
産業振興支援事業（農業・水産業）	
機械器具整備、経費支援等	33,321千円
口之島農道整備	6,400千円
道路新設改良工事（口・諏・宝）	9,650千円
住宅管理費	△5,463千円
定住促進住宅改修（平・諏）	9,383千円
畜産振興一般経費	△3,022千円
公債費	△32,000千円

国保（第2号）

補正額 10,508千円を追加
補正後の予算額 9,901万3千円

主な財源

前期高齢者交付金	2,693千円
国民健康保険基金繰入金	7,253千円

主な使途

保険給付費	9,506千円
-------	---------

船舶交通（第4号）

補正額 8,284千円を追加
補正後の予算額 9億2,885万9千円

主な財源

国庫・離島航路補助金	8,284千円
------------	---------

主な使途

燃料費（A重油）	12,922千円
運航費・船員費	△5,391千円

簡易水道（第4号）

補正額 2,144千円を追加
補正後の予算額 5,712万5千円

主な財源

一般会計繰入金	2,144千円
---------	---------

主な使途

単独水道施設工事費	1,830千円
-----------	---------

専決処分の承認

- 特定離島ふるさとおこし推進事業：元浦港防波堤整備工事請負契約
契約金額＝5082万円
- 特定離島ふるさとおこし推進事業：南之浜港船揚場整備工事(1工区)の工事請負契約
契約金額＝5670万円

条例改正

- 十島村職員の給与に関する条例等の一部改正
人事院勧告による国家公務員の給与改定が実施されることに伴い、村職員並びに特別職等の給与条例の所要を改正しようとするものである。

契約締結

- 十島村地域情報通信基盤施設整備工事請負契約(変更)
※一般ユーザー向けインターネット接続サービス施設(FWA)整備
変更金額＝375万9千円
変更後の請負契約金額＝1億8278万4千円
工期等その他変更なし
(～平成22年11月30日)



- 「フェリーとしま」第一種中間検査工事及び一般工事請負契約
契約金額＝7329万円
契約の相手方 鹿児島ドック鉄工株式会社
工期 平成23年2月14日～2月28日
(15日間)



過疎計画策定

- 過疎地域自立促進市町村計画の策定について
平成22年度から平成27年度までの過疎地域自立促進市町村計画の策定である。

平成 22 年 11 月定例会の結果

議案番号	件名(要約)	議決結果
報告 第 12 号	専決処分の承認を求めることについて(特定離島ふるさとおこし推進事業 元浦港防波堤整備の工事請負契約の締結)	承認
報告 第 13 号	専決処分の承認を求めることについて(特定離島ふるさとおこし推進事業 南之浜港船揚場整備工事(1工区)の工事請負契約の締結)	承認
議案 第 66 号	十島村地域情報通信基盤施設整備工事請負契約の変更について	原案可決
議案 第 67 号	平成 22 年度「フェリーとしま」第一種中間検査工事及び一般工事請負契約 の締結について	原案可決
議案 第 68 号	十島村職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議案 第 69 号	過疎地域自立促進市町村計画の策定について	原案可決
議案 第 70 号	予算補正について (平成 22 年度十島村一般会計 補正予算第 4 号)	原案可決
議案 第 71 号	予算補正について (平成 22 年度十島村国民健康保険特別会計 補正予算第 2 号)	原案可決
議案 第 72 号	予算補正について (平成 22 年度十島村船舶交通特別会計 補正予算第 4 号)	原案可決
議案 第 73 号	予算補正について (平成 22 年度十島村簡易水道特別会計 補正予算第 4 号)	原案可決

編集後記

二〇二一年は「卯年」。「兔」は、素早い動きとジャンプ力が特技で、家族愛を象徴する干支でもあり、卯年は進歩のある年とされているようです。また、「卯」の字は「茂る」の意味で、草木が地面を覆う状態を表しているそうです。

今年一年、「うさぎ」のように飛躍したいものです。よろしくお祈いします。

議長 日高 通

議会広報調査特別委員会

委員長 平泉 二太

副委員長 永田 和彦

委員 有川 和則

委員 前田 功一

委員 用澤 満男

委員 平田 傳義

委員 日高 助廣

議会事務局